

# 広報 ただみ

11  
2019 月号  
No. 594  
令和元年11月10日



## 今月の表紙

今月の表紙は、新潟プロレスのレスラーの皆さんと腕相撲対決を行う只見小学校の児童です。1人ずつ勝負を挑んでいた児童たちは、徐々に人数を増やし、終盤には「大勢の児童対レスラー1人」となる場面も。勝者へのご褒美「お姫様だっこ」を賭けた熱い戦いに児童みんなが夢中になり、大盛り上りの交流となりました。

(関連記事：P10)

### 《特集》

- 「ふるさと交流都市」提携25周年  
柏市とのつながり…………… 2～5
- 《News&flash》…………… 6～7
- 《町の話》…………… 8～11





今年で提携25周年を迎える

# 「ふるさと交流都市」

# 柏市とのつながり



▲地域の方々と交流をしながら只見の魅力伝える（永楽台地域の文化祭）

## 「永楽台地域との交流が 両市町の交流の始まり

只見町と千葉県柏市が「ふるさと交流都市」を提携してから今年で25周年を迎えます（平成6年11月19日に提携）。この提携は、昭和56年頃から続く只見町と柏市永楽台地域の交流がきっかけでした。以降、本町と柏市は、行政上の連携に限らず、地域住民の方々も中心となり、長年に渡って積極的に交流を続け、つながりを深めていきました。本号では、提携25周年を契機に、町民をはじめとした皆さんに柏市との「ふるさと交流」について理解を深めていただくため、近年の交流内容やこれからの季節にもおすすめてできる柏市内の観光情報などを紹介します。

## 永楽台地域の文化祭で只見町をPR

10月19～20日、只見町関係者と物販事業者が柏市永楽台地域の文化祭（永楽台近隣センター）に参加し、「永楽台地域ふるさと協議会」の皆さんと只見の観光物産展を開催しました。同イベントには例年参加をさせていただいており、今年も2日間、地域の方々を中心に多くの人たちが訪れ、交流を深めるとともに只見の魅力を発信する絶好の機会となりました。



▲例年、只見町とふるさと協議会が協力して餅つき大会を行い、餅をふるまっている

## 「ふるさと交流都市」提携前から交流を続ける



ヤマサ商店 佐藤 弘 さん

永楽台地域との交流が始まった時から、同地域で物販などを行い、独自に関係を深めてきました。重要なのは、行政だけでなく、事業者や地域住民が積極的に交流をしていくことです。様々な機会でも永楽台地域、そして柏市全域の皆さんに只見の魅力が伝われば良いと思います。



# 柏市とどのような交流を行っているのか？

地域の皆さんとともに数多くのイベントに参加

交流の大部分は、両市町のイベント交流を通じて行われています。本町では、町内事業者と一緒に柏市のイベントに数多く参加し、物販や観光情報の発信によって柏市民の皆さんに只見の魅力をお届けしています。市内の「道の駅しょうなん」や「アンテナショップ daichi (大地)」「(J A ちば東葛が運営)にて只見町特産品コーナーを常設していただけるようになったことなどもあり、様々な機会でも町のPRができています。また、柏市最大のイベントである「柏まつり」時に行われる柏おどりには、毎年「只見町チーム」を組んで参加し、会場を盛り上げています。

一方、柏市も「只見ふるさととの雪まつり」に合わせて市民を対象としたツアーを企画している他、「柏市ふるさと交流協会」が同会場にブース

を設置し、柏産の野菜を販売するなど、本町に向けて柏の魅力を発信しています。イベント交流では、双方の魅力を伝えることはもちろん、より多くの市民・町民の皆さんに関わってもらうことを互いに意識し、相乗効果を生み出すような交流となるよう努めています。



▶例年、只見町チームとして参加している柏おどり(柏まつり)

## 表1 平成30年度 交流のあったイベント (一部)

### ●只見町

- 2018チュールリップフェスティバル(物販・観光PR)
- 2018柏まつり(物販・観光PR)※悪天候で柏おどりは中止
- 第38回沼南まつり(物販・観光PR)
- 2018あけぼの山農業公園まつり(物販・観光PR)
- 永楽台地域文化祭(物販・観光PR・餅つきふるまい)
- 第23回手賀沼エコマラソン大会(町民参加)
- 只見町臨時アンテナショップ開設(物販・観光PR) [道の駅しょうなん、アンテナショップdaichi(大地)]
- 酒井根地域文化祭(物販・観光PR)
- 「只見ユネスコエコパーク展」(各パネル展示) [パレット柏 ※文化交流等を目的とした複合施設]

### ●柏市

- 第48回只見町文化祭(市民参加)
- 第47回只見ふるさとの雪まつり (ブース出展、ツアー企画)

## 只見町との交流について永楽台地域の皆さんにお聞きしました！



永楽台地域ふるさと協議会  
上田 晃 会長

同地域には、都市部での生活しか知らない方も多く、只見町との交流によりたくさんの方の心を吸収させていただいています。

今後も役所同士のつながりとは別に、地域間での交流を続け、双方に良い影響を生み出すことができるように活動をしていきたいです。



永楽台地域ふるさと協議会只見交流部  
田中 和子 さん

様々な活動により、近年、同地域で只見町の認知度が上がっていると特に感じます。個人的に只見を訪れる地域住民も増えています。1つ1つの交流規模は大きくありませんが、これからも地道な交流を続け、互いに意識していけるような関係でありたいです。

只見の特産品は良いものが多いので、たくさんイベントを市内で実施してほしい。  
(70代夫婦)

只見町とのつながりは永楽台がきっかけ、と(市内他地域の)多くの人たちに自慢している！  
(60代女性)

形だけの交流でなく、お互い現地に足を運ぶことが大切。私も只見を訪れ只見の良さを知った。  
(30代女性)



記憶に新しい部分で、今年7月に只見町町制施行60周年記念事業として開催された柏市立柏高等学校吹奏楽部の記念コンサートは、多くの町民の皆さんに感動を届けました。こうした交流内容は、両市町の職員が集まり、毎年開催している「只見町・柏市ふるさと交流企画会議」を中心として検討されています。また、柏市永楽台地域や酒井根地域のふるさと協議会などによる本町の視察研修も定期的に行われており、その中で新たなイベント交流に結びつく機会も増えてきています。



▶柏市立柏高等学校吹奏楽部によるコンサート

## 教育分野では学校給食の食材交換が好評

両市町の交流は、前述のイベントを活用したものに限らず、学校給食や山村教育留学といった教育分野でも実施されています。

学校給食では、平成24年度から毎年、食材交換を行っており、只見町からはお米を、柏市からは米や野菜、近年ではブルーベリーの提供を行っています。只見側は町内の小・中学校が対象となっていて、昨年度は、各学校で柏産ブルーベリーの品質や生産者の活動などを学びながら、美味しいブルーベリージャムを味わいました。柏市でも同様に、柏市立第八小学校の皆さんが生産者の想いを学びながら只見産米を食べる日が設けられています。こうした事業（学校給食用食材交換事業）は児童や生徒にも大変好評で、重要な交流の一つです。

町の山村教育留学も柏市の協力をいただき、市内の中学生を対象とした募集を積極的に行っています。只見町教育委員会による各学校への案内・



▶製造工程を学びながら柏産のブルーベリージャムを味わった児童(朝日小学校)

訪問活動や市内での制度説明会に加え、関連する情報を市の広報物に適宜掲載してもらっています。ちなみに、現在（今年10月末時点）在学中で、柏市から入学した山村教育留学生は3名（全42名中）です。

只見高校への入学希望者数増加に向け、柏市をはじめとした山村教育留學生の獲得にも引き続き力を入れていく予定です。

## 災害時の連携も新潟・福島豪雨への支援

近年、重要性が高まっている防災に關しての連携も行っており、平成17年度には両市町で「災害時における相互応援協定」を締結しています。

本町に甚大な被害をもたらした新潟・福島豪雨（平成23年）時には、同協定に基づき、柏市から支援助物資の提供や職員派遣（避難所スタッフ、災害救助事務職員、土木技師）、市民の皆さんによる土砂・がれき撤去のボランティア活動など非常に多くのご支援をいただきました。

主な交流内容について紹介しましたが、今後の交流推進はもちろん、さらに多くの町民・市民の方々に参加いただき、幅広い分野でより効果的な「ふるさと交流」が実践できるよう、お互いに検討を進めていきます。

## 柏の「かぶ」は生産量日本一！

柏市を代表する農産物「かぶ」はこれからの時期が旬（12～3月）です。なんと生産量は日本一！ユニークな「かぶソフトクリーム」も販売されています。ぜひ一度味わってみてはいかがでしょうか？



道の駅しょうなん レストラン「ヴィアッチオ」

☎ 04-7192-3277 (柏市箕輪新田59-2)

「かぶソフトクリーム」  
を味わえる場所は



# これからのシーズンにも！ 柏市内のおすすめ情報

## ①「あけぼの山農業公園」のイルミネーション

「あけぼの山農業公園」では、1年を通じて季節毎の花畑や収穫体験付きのバーベキュー、各種農業体験などを楽しむことができます。これからの時期は夜空に輝くイルミネーション（今年は11月22日～12月25日まで）がおすすめです。

- 開園時間：9～17時 毎週月曜と年末年始休園 ※入場無料
- イルミネーション：風車前広場で21時まで



▲冬はイルミネーションが会場を照らす



▲4月が見頃のチューリップ畑

## ②「柏神社」、 「布施弁天（東海寺）」で初詣や節分祭



▲柏神社（夜）



▲布施弁天本堂



▲例年多くの人々が訪れる  
柏神社の節分祭

柏駅近くにあり、古くから天王様と呼ばれ市民に親しまれてきた「柏神社」や、関東三大弁天のひとつに数えられる「布施弁天」（「あけぼの山農業公園」向かい）で初詣はいかがですか？また、毎年開催される節分行事では、福豆まきなどが行われ、多くの人々で賑わいます。

- 次回の福豆まき：柏神社 2020年2月3日頃を予定（15時から数回）  
布施弁天 2020年2月2日（13時30分と15時30分の2回）

※柏神社の写真2枚は柏神社様より提供

## ③スポーツチームを応援！

柏市のスポーツチーム、男子サッカーの「柏レイソル」と女子バスケットボールの「JX-ENEOSサンフラワーズ」を応援しましょう！

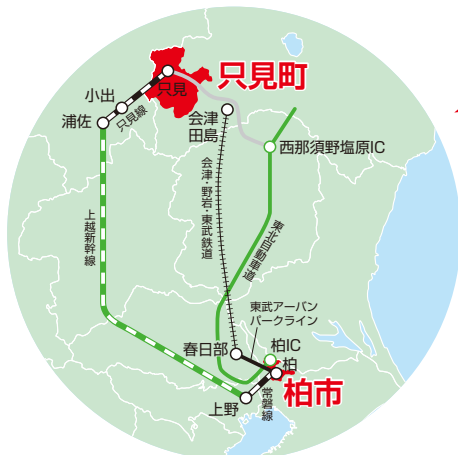
- レイソル：今シーズンのJリーグは11月24日が最終節。新シーズンは、来年2～3月に開幕予定。
- サンフラワーズ：来年4月まで今シーズンのW(バスケットボール女子日本)リーグが続く。



## 柏市全域MAP



## アクセス図



※上記や市内の観光に関する詳細な情報は、各施設やスポーツチーム、柏市観光協会などにお問合せください。

- 柏市観光協会 ☎ 04-7162-3315
- 只見町観光商工課観光係 ☎ 0241-82-5240
- 柏市地域づくり推進部地域支援課 ☎ 04-7167-1126



エコパーク関連事業 信州大学への委託により

## 古民家実態調査を実施

9月26日、梁取区・長浜区・黒谷区で町と信州大学教育学部による「古民家実態調査」が行われました。同調査は、住民の伝統的な生活文化を知る上で重要な古民家の保全を目的に、町が信州大学に委託して平成28年度から実施しているものです。近年、生活様式の変化や老朽化により古民家の解体が進んでおり、効果的な保全策の検討が進められています。今回は、信州大学教育学部の学生らが調査対象の古民家を訪れ、建てられた年代や建材の種類、昔の生活様式などを中心に調査を行いました。今後、調査結果については町民や関係者の皆さんに報告する機会が設けられる予定です。



▲古民家調査の様子

今年はワークショップも開催

## 只見町「家庭劇場」

10月1日、本格的な舞台芸術を身近に感じてもらうことを目的に毎年開催されている「家庭劇場」が只見中学校体育館で開かれ、町内の保育所園児や小学生、町民の皆さんが参加しました。

今年も、静岡県浜松市の劇団たんぽぽが「くちぶえ番長」(原作・重松清)を披露し、自分のためだけでなく他人のために行動することの大切さを伝えました。

また、演劇後のワークショップでは、嬉しい時や怒った時など様々な感情を全身で表現する体験に参加者全員で行い、皆で身体を動かしながら元氣いっばいに声を出す子どもたちの姿がとても印象的でした。



▲ワークショップにて、全身で感情表現する保育所園児

全国各地で、只見町を発信

## 「ふるさと大使」懇談会を開催

10月4日、年に一度の只見町「ふるさと大使」懇談会が役場で開催され、12名の大使と関係者が出席しました(大使は計16名で無償活動)。ふるさと大使は、只見町の魅力を全国に発信する町外在住の皆さんで、仕事の合間などを使い、多くの人に只見の良さを伝えたり、年に何度も町イベントに足を運んだりしてくださっています。

懇談会では、大使の皆さんが一年間の活動報告を行った後、本町の振興に係る意見や情報を積極的に提供いただき、外から見た只見町について議論をする非常に貴重な時間となりました。



▲活発な意見交換が行われた「ふるさと大使懇談会」

エコパーク関連事業 ブナ林などの自然に触れて

## 「只見こども芸術計画」

10月7日と17日の二回、あさひ放課後こども教室の児童を対象とした「只見こども芸術計画」が行われました。これは、豊かな自然を活かしてワークショップを実施するもので、今回は「ブナの森の道具屋さん」と題し、森に住む生き物が生活に使う道具を想像して作るという内容になっています。参加児童8人は、7日にたぐみ観察の森「下福井のブナ水源林」で材料となる自然素材を集め、17日に集めた素材を活かしながら道具の制作を行いました。完成作品は「たぐみ・ブナと川のミュージアム」(12月16日)や「朝日のいいもの集めちゃった市」(来年3月)にて展示される予定です。



▲只見の自然に触れながら芸術活動を行う児童(朝日小学校1～2年生)





▲土砂が流入した農地（小林地内）

10月12～13日、全国各地で猛威をふるった台風19号は、本町にも路面の崩落や冠水などの被害をもたらしました。

台風の接近に伴って12日の昼頃から雨風の勢いが増し、午後から夜間にかけて各警報や土砂災害警戒情報、さらには大雨特別警戒報（19時50分）が発表されました。全町に「避難勧告」、また、緊急の避難を促す「避難指示」が4地域（上福井、沖下、沼田原、只見田中）の118世帯239人に出され、全町で計267人の方々が各振興センターや集会施設などに避難を行いました。

## 台風19号が列島直撃 只見町でも国道路面崩落などの被害



▲伊南川の増水により崩落した国道289号（福井三日町地内）

町は台風に加え、前日11日の17時に水防本部を設置して警戒体制を取り、12日20時30分に災害対策本部へと切り替えました。町内では、消防団や只見駐在所、消防署などの迅速な対応により被害は最小限に食い止められました（人的被害なし）。

今回の台風で国道289号路面の半面崩落（三日町地内）や農地等の冠水・土砂流入、林道の損壊、建物への浸水などの被害がありました。町では、一刻も早い復旧に向けて関係機関と協力し、作業を進めてまいりますので、二次災害等に十分注意するようお願いいたします。

※通行止めに関する情報等については、「おしらせばん」や町のホームページをご確認ください。

## 県道小林館の川線改良促進期成同盟会 整備促進について県に要望活動

10月8日、同期成同盟会（会長・只見町長）が福島県庁を訪問し、県道「小林館の川線」の早期整備を求める要望活動を行いました。

伊南川を挟み国道289号の対岸を通るこの県道は、国道が台風19号の被害（三日町地内）を受けた現在も迂回路として重要な役割を果たしていますが、以前より小林・亀岡間における幅員の狭さや落石の危険性、また、熊倉・小川間の雪崩発生などの問題点が指摘されています。

当日は、こうした事項に対する整備促進を井出孝利副知事に要望し、要望内容についてご理解をいただきました。



▲井出副知事（中央）に要望書を手渡す同盟会員

## 八十里越道路の開通を見据え 「八十里越商工会交流事業」開催

10月16日、只見町商工会と下田商工会（三条市）が主催する「八十里越交流事業」が只見町を会場に開催され、約70人の関係者が参加しました。同事業では、例年互いの地域を会場に、八十里越道路工事の進捗確認や道路開通後における広域的な経済交流の推進、両地域の振興策の検討などが行われています。

今回は、各工事現場を見学した後、講演会「八十里越と河井継之助」（講師・飯塚恒夫さん）や懇談会が実施されました。懇談会では、参加者から広域観光や開通時の記念イベント、製造業の交流拡大など様々な視点から意見が出され、地域間の交流をより深める機会となりました。



▲関係者による意見交換が行われた懇談会（季の郷湯ら里）

各自が自己記録の更新にチャレンジ!

## 小学校陸上記録交歓会が開催

9月26日、「第49回只見町小学校陸上記録交歓会」が町下運動広場で開催され、町内3小学校の5・6年生約60人が参加しました。大会には保護者や地域の皆さんなど多くの方が応援に訪れ、児童たちは、自己記録の更新などを目標に、全力で各競技に取り組んでいました。

また、今年度は男子80Mハードルで朝日小学校6年の渡部琉生くんが新記録を出した他、ソフトボール投げに変わり、新たにジャベリックボール投げが取り入れられました。



▲今大会唯一の新記録となった渡部琉生くん(右)の男子80Mハードル



▲成功のたびに大きな歓声が上がった女子走り高跳び



▲大会のラストを飾った4×100m男子リレー

## 第49回 只見町小学校体育交歓会 入賞記録一覧表 (3位まで) ※敬称略

種目	1000m(男子) 800m(女子)	100m	80mハードル	4×100mリレー	走り幅跳び	走り高跳び	ジャベリックボール投げ
男子	1 酒井 湧司 (明・6) 3分40秒8	横山 敬都 (明・6) 14秒2	渡部 琉生 (朝・6) 14秒1(大会新)	明和A 1分01秒2	渡部 琉生 (朝・6) 400cm	酒井 湧司 (明・6) 116cm	印南 奏詩 (明・6) 37m49cm(大会記録)
	2 青山 成希 (只・6) 3分46秒5	菊地 桐伍 (明・6) 16秒3	増田 司 (朝・6) 14秒6	朝日A 1分02秒0	横山 敬都 (明・6) 381cm	増田 司 (朝・6) 110cm	矢沢 亮太 (只・6) 37m43cm
	3 菅家 岳人 (朝・6) 3分52秒2	本名 大成 (朝・5) 16秒8	大竹 蓮斗 (明・6) 15秒5	朝日B 1分08秒5	青山 成希 (只・6) 331cm	渡部 巧人 (朝・5) 100cm	吉津 就 (朝・6) 35m20cm
女子	1 齋藤 有紗 (朝・6) 3分02秒2	新國 優月 (只・5) 14秒9	松永 紗弥 (只・5) 16秒0	朝日A 1分05秒6	矢沢 実優 (明・6) 346cm	酒井 麗 (只・6) 114cm	新國 夢萌 (只・6) 32m99cm(大会記録)
	2 齋藤 楓 (只・5) 3分06秒2	吉津 知巴 (朝・6) 15秒2	酒井 麗 (只・6) 16秒3	只見A 1分05秒8	吉津 知巴 (朝・6) 327cm	松永 紗弥 (只・5) 109cm	渡部 仁奈 (朝・5) 26m18cm
	3 大東 咲来 (明・6) 3分06秒4	矢沢 実優 (明・6) 15秒9	橋川 小綯 (明・6) 17秒1	明和A 1分09秒0	星 まお (朝・6) 311cm	新國 優月 (只・5) 109cm	大東 咲来 (明・6) 23m43cm

※氏名(学校名・学年)。只/只見小学校、朝/朝日小学校、明/明和小学校の略。



## 春の手植え体験に続き…

### KARIYASU'19「100人手刈り」開催！

9月28日、今年5月に開催されたKARIYASU '19「100人手植え」時に植えた稲を参加者全員で手刈りし、はぜかけ作業を行う上記「手刈り」イベントが行われました。このイベントは、地元農家を中心に、春に手植え・秋に手刈り体験を実施するものとして例年開催されており、県外からの参加者も多く、毎回盛り上がりを見せています。(会場：湯ら里前の田んぼ)

当日は、参加した皆さんが作業を楽しむとともに、「18歳の酒 Project (プロジェクト)」として南会津高校の生徒も参加し、一生懸命稲刈りを行っていました。

※「18歳の酒 Project (プロジェクト)」は、高校生が田植えから収穫、酒造りまでを体験し、完成した酒を成人した時に受け取るものです。



▲全員で協力して作業を行った



▲参加者全員(約70人)で記念撮影！



▲ガイドの案内で河井記念館を見学



▲ブナりんも加わり参加者全員で記念撮影

## 河井継之助の足跡をたどる

### 「継之助ウォーク」に多くの方が参加

9月29日、長岡藩家老・河井継之助の足跡をたどる「継之助ウォーク」が開催され、町内20人、長岡市・会津若松市から50人の計70人が参加しました。当日は、継之助が当時歩いたとされる町内約6キロの行程を地元ガイドと一緒に歩き、河井記念館や叶津番所などを見学しました。ウォーキング後には、今年6月に戊辰セミナーの講師を務めた飯塚恒夫さん(継之助ウォーク実行委員長)が歴史講話を行い、戊辰戦争を中心とした本町歴史資源を多くの方々に紹介する良い機会となりました。

## 野村総研グループ社員の皆さんが

### 森林整備ボランティア活動を実施

10月4日、「ただみ豪雪林業体験・観察の森」(以下、体験の森) 整備事業の目的に賛同し、資金協力をいただいている野村総合研究所グループ社員30人が同地でボランティア活動を行いました。

この体験の森(黒谷)は、豪雪地に適応した森林管理技術の開発や森林レクリエーション、環境教育などを実践するモデル地となっています。

今回は、町関係者ととともに、昨年度に除間伐されたスギ材を薪材にする作業を実施し、社員の皆さんに豪雪地における人工林の実態や林業作業について体感していただきました。



▲薪材作りの様子



各地のグルメに楽しいイベントも！

## 「水の郷うまいもんまつり」が開催

10月5～6日、毎年恒例の「水の郷うまいもんまつり」がJR只見駅前広場で開催され、町内外から多くの方々が来場しました。

イベント名になっているように、会場には会津エリアの事業者に加え、郡山市や三条市、新潟市などから計20以上の団体が出店してご当地グルメ等を販売し、来場した皆さんが各地の味に舌鼓を打っていました。今年も田子倉ダム見学ツアーやいわなつかみ、スペシャル歌謡ショー（島津悦子、奥山えいじ）など人気の企画がたくさん行われ、会場を大いに盛り上げました。



▲多くの屋台が並び会場は、終始多くの来場者で賑わった



▲場外乱闘的一幕もあった新潟プロレスショー

雨天により急遽、只見振興センターでの開催となった「新潟プロレスショー」も賑わいを見せ、皆さんが声援を送る姿が印象的でした。ショーにはJR只見線全線復旧を応援する想いも込められており、只見線応援キャラクターの「キハちゃん」も駆け付けました。

また、今年は町制施行60周年を記念し、1日目のクライマックスを飾る花火大会が、例年より規模を拡大して開催され、美しい花火が会場や秋の夜空に彩りを加えました。

白熱の腕相撲対決などを通じ

## 新潟プロレスのレスラーと只見小児童が交流

10月4日、新潟プロレスのレスラー4人（シマ重野代表兼選手、他3選手）が只見小学校を訪問し、児童たち（1～6年生）と交流を深めました。入場曲に合わせて登場したレスラーの皆さんは、挨拶代わりに児童一人一人と腕相撲対決を行い、自慢の腕力を披露しました。校内には大きな声援がこぼれ、数人がかりで挑戦する児童の姿も見られました。

対決の後には、レスラーの皆さんが「自分たちはどんな小学生だったか」「夢を持つことの大切さ」などを話し、児童は真剣に耳を傾けていました。



▲みんなで腕相撲対決！



▲積極的に質問をする児童たち



## 2年連続の好成績

### 只見町チームがベスト16!

9～10月にかけて、県内59市町村の頂点を目指す「第13回市町村対抗県軟式野球大会」が各地で開催され、只見町チームが昨年度に引き続きベスト16という素晴らしい成績を取めました。1・2回戦に見事勝利〔対金山町(17-4)、対磐梯町(1-0)〕した只見町チームは、10月5日の3回戦で小野町と対戦し、1-3で惜しくも敗れましたが、2年連続ベスト16という好成績を残した同チームの今後更なる活躍が期待されます。

※台風19号の影響により「第6回市町村対抗県ソフトボール大会」は中止となりました。



▲只見町チーム(軟式野球)の皆さん。本当にお疲れ様でした!  
(1回戦の会場「須賀川市牡丹台野球場」にて)

## 半世紀に渡る夫婦の絆

### しあわせ金婚夫婦表彰式

10月18日、福島民報社と福島県老人クラブ連合会が主催する「しあわせ夫婦金婚表彰式」が季の郷湯ら里で行われ、今年金婚を迎えられた(迎えられる)町内23組のご夫婦が表彰を受けました。

表彰式では、角田陸町老人クラブ連合会長より表彰状が、菅家町長と福島民報社南会津支局の小池支局長より記念品などが手渡された後、金婚夫婦を代表し、田村幸男・ヒナ子さん夫妻(塩沢)が謝辞を述べられました。表彰を受けられた皆さん、本当におめでとうございます。



▲謝辞を述べる田村さん夫妻

## “食”や“命”の大切さを子供たちに伝えるために

### 「ふくしま食育実践サポーター講習会」を開催

10月18日、只見振興センターで「ふくしま食育実践サポーター講習会」が行われ、計23人の只見町食生活改善推進員が参加しました。講習会の開催は、実際に町内小学校で料理指導などを行っている町推進員への指導を通じ、食育の課題解決につなげることが主な目的です。当日は、ホテル華の湯(郡山市)料理長の齋藤正大氏を講師にお招きし、「麓山高原豚肩ロースの三五八漬け」などの調理実習を実施した後、「食事を通じ、命の大切さをいかに子供たちに伝えられるか」等をポイントに料理長から講話をいただきました。



▲齋藤料理長(左)の説明に耳を傾ける参加者の皆さん



## 10月から新しい看護師さんが着任しました！

10月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の藤川楓恋さんです。藤川さんは、小さい頃からずっと看護師に憧れていて、幼稚園の時から将来の夢は看護師だったとのこと。

また、スポーツが好きでこれまでバレーやサッカー、フットサルなど多くの球技を経験してきたそうです。中でも1番の趣味はスノーボードで、只見スキー場のオープンを楽しみにされています。これからスポーツを通じて、秋・冬の只見の自然を満喫したいと話してくれました。



藤川 楓恋 さん  
(出身/会津坂下町)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
所長 若山 隆



### 「インフルエンザワクチンを受けましょう」

皆さんこんにちは！この時期恒例のインフルエンザのお話をしたいと思います。

インフルエンザは通常の風邪より症状がつらく（高熱、倦怠感、体の節々の痛み、咳など）、かつ感染力が強く、高齢者や学童を中心に冬季間に大流行します。対策としては手洗い、うがい、マスク着用も大切ですが、もっとも予防効果が高いのはやはりワクチンです。**厚生労働省ホームページによれば、6歳未満の小児を対象とした2015/16シーズンの研究ではワクチンにより60%の発病を阻止し、高齢者についての別の研究では34～55%の発病を阻止するとされています。**

生後6か月以上のすべての人に勧められ、高齢者、感染が広まりやすい児童・学生の方他、重症化しやすいとされる妊婦の方、慢性の肺・心疾患をお持ちの方、抵抗力が落ちる糖尿病の方に特にお勧めです。

インフルエンザワクチンをご希望の方は、電話で予約をとって朝日診療所で個別に受ける方法と保健福祉

センターあさひヶ丘での集団接種で受ける方法があります。個別接種の場合は、必ず朝日診療所にて予約を取ってください。予約の電話番号は84-2221です。診療所に定期的に予約して受診している方は、予約受診日に随時接種もしています。保健福祉センターでの集団接種は下の表の通りに地区別に予定が組まれています。集団接種の場合は特に予約は必要ありません。自分の地区の接種日・時間に都合がつかない場合は他の日・時間でも可です。ワクチン接種をぜひお願いいたします。

集団接種	日 程		実施地区
	11月	22日(金)	只見地区
	12月	6日(金)	朝日地区
	12月	12日(木)	明和地区

## 地域おこし協力隊として Vol.60

只見町教育振興協力隊  
あべ としひろ  
阿部 利浩



### 「高校生との地域協働」

只見高校の振興対策のためにこちらに来てから、2度目の秋になります。今年、只見高校では山村教育留学生として1年生12名を迎え、すでに山村教育留学生が全校生徒の3割以上となっています。先日の体験入学時にも、山村教育留学制度利用を検討している町外の中学3年生20名が参加し、寮となる奥会津学習センターの見学に訪れました。そのような中で、福島県の高校改革前期計画の下、来年度から只見高校は地域共働推進校という位置付けがされます。全国的な普通科

高校の変革の波の中で、高校はただ勉強をする場所、ではなく、高校生が地域の人たちと共に地域振興のアイデアを出し合い、共に地域の発展のための働きかけをしていく拠点となることが求められています。高校生が普段あまり触れることの無い地域課題について学習し、高校生がそれをどう考えるか、大人はそれを聴きながら助言をし、意見を出し合う。そうして一緒に解決の道を探ることで高校生が成長し、地域も新しい道が開けていく、地域共働推進校にはそんな狙いがあります。高校と町の間を繋いで、それがうまくできるような道筋をこれから作っていきたいと考えています。



# 町史

とっておきの話

304

早稲田大学非常勤講師

ひさの  
久野 俊彦  
としひこ

## 『書物の郷』只見町での書物調査ファイルドワーク②

― 中世写本の発見と文化遺産としての保存 ―

修験・龍蔵院

聖教典籍の新出

平成元年からはじまった町史編さん事業によって、修験吉祥院・五十嵐義博家や医家・原田拓夫家、石伏集落などからたくさん書物類が集められました。これらを整理していくうちに、近世の村人は、刊本や写本の書物で読書していたことがわかりました(二只見町史1「通史編」)。また、神奈川大学常民文化研究所による調査では、町内に約四〇〇点もの「職人巻物」が伝存していることが確認されました。これらの学術調査は、只見町における書物研究の基礎となる大きな成果といえます。

町史編さん事業が終了した二〇〇四(平成一六)年の夏、私は職人巻物の補足調査のために、国立歴史民俗博物館の小池淳一氏とともに只見町教育委員会を訪れました。当時、町職員だった新国勇氏と古文書調査員の故

横山哲夫氏から、修験・龍蔵院だった山崎行弘家で古い書物や経本が大量に見つかったが、題名がなく内容もわからないから見てほしいと言われました。その書物は汚れやいたみがひどい端本で、「法印書物」と書かれた木箱は処分された後でした。書物の形のものを取り出されていましたが、経典の端本や断片は、一括して段ボール箱に入れられ「なげる」(捨てる)寸前のところ

でした。その書物や断片を広げているうちに、永禄六年(一五六三)という奥書のある陰陽道書や、室町時代の書風の仮名で書かれた『伊勢物語』の古写本が見つかりました。さらに永禄・天正・文

禄という戦国時代一六世紀の年号が書かれた仏教書や江戸時代初期の辞書や物語が多数発見されたのです。奥会津の山村に、中世の古写本が存在したことにまず驚きました。重要な資料な

ので、書誌学的調査と全冊全頁(頁)のデジタルカメラによる撮影を開始しました。書物は長年使われていたため、よれとやつれがひどいものばかりでした。これら一冊一冊のほこりを払い、しわを伸ばしてアイロンがけをして撮影したので、五年間の労力を費やしました。

### 『神皇正統記 只見本』の再発見

町史編さん事業後は、町教育委員会による文化財調査事業として、吉祥院・五十嵐家の聖教典籍と医家・原田家の書物の詳細な再調査が行われました。原田家の『神皇正統記』は、天正一五年(一五八七)の奥書がありながら、「只見町史」では重要視されていません。しかし、私はこの『神皇正統記』を見て目を見はりました。綴葉装という中世古典籍の装訂で、中世の書風で書かれた文字だったので。

書写した祐俊は、京都の醍醐寺や智積院の高僧に仕えた学僧でした。南北朝時代に書かれた『神皇正統記』が、天正時代に写されて綴じられ、当時のままの美しい古典籍として只見町に残っていたということは、すばらしいことです。

これらの調査成果によって、「修験龍蔵院聖教典籍文書類」「修験吉祥院聖教典籍文書類」が只見町指定文化財に指定され、『神皇正統記 只見本』が福島県指定重要文化財に指定されたのです。

### 大量の中世写本

瀧泉寺で発見

二〇一七(平成二九)年十一月に瀧泉寺本堂改修のために片付けが行われ、私は重要物の仕分けをしました。本堂須弥壇の後ろにある木箱には近世版本が大量にあり、その奥から新聞紙に包まれた中世写本が出てきました。奥書には「神皇正統記」と同じ書風で「祐俊」とあります。天正・文禄・慶長の年号の祐俊の写本が大量に出現したのです。さらに、本堂を探ると年号が古くなり、応永三十五年(一四二八)の奥書がある書物を最古に、一四〇〇から一五〇〇年代の室町時代・戦国時代の中世写本が約一三〇点、近世の書物が約六〇〇点も発見されました。

この古典籍の量と質には驚嘆します。まさにこれらの文化遺産は、祐俊による筆写の功績に加えて、代々の住職や檀家、そして雪という只見の風土が、守り継いできたものでしょう。これまでの一連の発見は、村落の書物が中世から持続的に存在していたことを示す研究のフロンティアといえます。



▲発見された瀧泉寺の中世写本





# 町民文芸

## 只見短歌会

九月詠草

大塚栄一

指導

ナツメロの大正琴の慰問には口づさむ老の声も弾めり

馬場 八智

四季ごとに変はる裏山眺めつつ青葉あふるる櫛の里山

渡部ゆき子

保育所の休みに来し孫その度に大人の言葉覚へて話す

新国由紀子

見上ぐれば雲の流れも秋空にそよぎてやさしコスモスの花

関谷登美子

腕よりも脚よりも太きさつま芋掘りたる孫は喜び見せ来る

渡部ヨリ子

孫二人繕ふ我に寄り添ひてどの子が糸を通してくるるや

目黒 富子

こぶし苑の慰問に来たる園児らのおゆうぎいくつも見ては涙す

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

十月定例会

目黒十一

指導

散髪鏡の中や菊日和  
茸山も遠き嶺となり五六年

幸生

足止めて百舌鳥の高鳴き青い空  
カメムシを追いかけて騒ぐ鄙の家

信

鬼やんま居間をコースと定めけり  
似顔絵にホクコを入れる秋の蠅

味代子

姉の忌や銃後の日記秋しぐれ  
道祖神傍らに野菊や夕まぐれ

弘子

手際よく芋煮作りて主婦の留守  
パレードの旗秋空に触れるほど

一恵

嬌声や目と鼻先に熊の棚  
よく見れば肩に威厳やへこき虫

恒夫

災害を思い返している厄日  
月白し車窓に秋の風を入れ

礼

薪積んで腰を伸ばせば薄紅葉  
新走りこれが一番夫の喉

一穂

秋の水鯉の尾ひれのひとひねり  
水没の村の祭やしめやかに

修一

老体の若者しのぐ新走り  
熊笹の中より秋の水の音

吉児



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## 税 今月の納期

11月25日までに  
納めましょう

- 町県民税 (3期)
- 国民健康保険税 (5期)
- 農集排使用料 (11月分)
- 介護保険料 (5期)
- 後期高齢者保険料 (4期)

## お知らせ

「福島くらし&しごとフェア 2019」ふくしまの本気、全県規模のイベントを都内で開催します

- オール福島の移住イベント
  - 入場無料
  - 託児あり
  - 充実の仕事情報!
  - 事前申込で来場特典!
- 今年も開催、ふくしまの本気、移住イベント!  
移住相談員、移住推進員、移住コーディネーターの他、55の出展市町村、企業、団体が有楽町に大集結!  
あなたに合った「ふくしまぐらし」を見つけてみませんか?  
※首都圏在住のご家族、お知り合いの方にもお知らせください。

### 開催日時

11月17日(日)  
11時～17時

(最終入場16時半)

### 開催場所

東京交通会館12階  
カトレアサロン

(東京都千代田区有楽町)

21011

### お問合せ

福島くらし&しごとフェア  
2019事務局(株ぼど内)

担当:高倉

☎080-4632-3930

メール areainfo@pado.co.jp

### 「労働困りごと相談窓口」を設置しています

賃金未払い、解雇、退職などの労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

### 相談は、平日の面談や電話での相談のほか、ファックスや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

### 時間

8時30分～12時

13時～17時(土日祝を除く)

### 問合せ先

福島県労働委員会事務局  
福島市中町8-2

自治会館4階

☎024-521-7594

メール roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp

### 「新消防庁舎」完成見学会のご案内

南会津地方広域市町村圏組合では、かねてより新消防庁舎建設を進めてきたところですが、この度、第一期工事の庁舎棟が完成し開庁の運びとなりました。つきましては、新消防庁舎完成見学会を次のとおり開催しますので、この機会にぜひご覧ください。

### 開催日時

令和元年12月7日(土)

午前の部 10時～11時半

午後の部 13時半～15時

### 開催場所

南会津地方広域市町村圏組合  
新消防庁舎棟(南会津町田  
島字西上川原乙65番地)

### 対象者

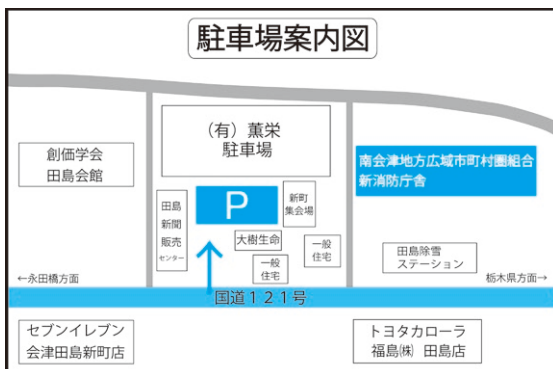
どなたでも見学できますが、小学生以下の方は保護者同伴でお願いします。

### お願い

見学の際は、係員の指示に従ってください。

● 駐車場は、大樹生命(株)田島支所様の裏に設けておりますが、駐車場のスペースに限りがありますので、あらかじめご了承ください。

### 駐車場案内図



● 問合せ先  
南会津地方広域市町村圏組合  
消防本部総務課  
☎024-1163-3118



# 地域おこし協力隊員の紹介

10月より、新たに1名の地域おこし協力隊が「自然首都・只見観光振興協力隊」として加わり  
ました。主に観光振興や道の駅事業の推進に係る業務を担当し、観光商工課に所属します。



ばば ひろこ  
**馬場 弘子**さん

出身地／会津美里町生まれ

埼玉県育ち

趣味／ハンドメイド（雑貨等）

## メッセージ

初めまして。10月より只見町地域おこし  
協力隊に就任しました馬場弘子です。

生まれは会津美里町ですが、埼玉県からミ  
ニチュアダックス2匹を連れて移住してきま  
した。今まで都会で得た経験や知識を生かして、  
只見町の観光振興に少しでもお役に立て  
るよう頑張りたいと思います。どうぞ宜しく  
お願い致します。

## 町長スケジュール (10月分)

- 1日 歳時記の郷奥会津展（仙台市）
- 3日 只見ユネスコエコパーク連絡調整  
会議
- 4日 ふるさと大使懇談会、森林整備ボ  
ランティア活動
- 5日 自然首都・只見水の郷うまいもん  
まつり
- 8日 福島県保健福祉部要望、県道小林  
館の川線改良期成同盟会要望（福  
島市）
- 11日 教職員組合南会津支部来庁、町水  
防本部会議
- 12日 町水防本部会議、町災害対策本部  
会議
- 13日 町災害対策本部会議

- 15日 定例庁議、町災害対策本部会議
- 16日 八十里越え商工会交流懇談会
- 17日 福島県生活環境部自然保護課来庁
- 18日 しあわせ金婚夫婦表彰式、会津赤  
べこ会懇談会
- 19日 町内小学校学習発表会
- 20日 河井継之助杯只見剣道大会
- 21日 菅家一郎復興副大臣災害現場視察  
調査
- 23日 只見町議会10月会議、(株)季の郷  
湯ら里臨時株主総会
- 25日 福島県森林・林業緑化協会役員会  
(福島市)
- 27日 只見地区JAまつり
- 28日 町災害対策本部会議、南会津地方  
町村会理事会（於：南会津町）
- 29日 一人暮らし高齢者お楽しみ昼食会
- 31日 空き家等対策協議会、時事通信社  
郡山支局長来庁



# 町民の消息

(9月26日～10月25日届出分)敬称略

## ■お誕生おめでとうございます

一条 蒼葵 (男/英昭・陽奈) 二軒在家

## ■ご結婚おめでとうございます

館ノ川 渡部 貴之 ♡ 清水 幸 会津若松市

## ■おくやみ申し上げます

横山 克彦	74歳	榎戸
五十嵐 平一	90歳	福井
小林 悦男	82歳	布沢
菅家 千太郎	75歳	田中
五十嵐 武夫	81歳	蒲生
星 猪一郎	71歳	福井
堀 金キチ	92歳	長浜
矢沢 庄次郎	94歳	原
新國 武男	86歳	新町

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和元年10月1日現在

人口	4,178 (-7)
男	2,048 (-6)
女	2,130 (-1)
世帯数	1,782 (+5)
高齢化率	46.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 6 転出 4 出生 0 死亡 9

## あとがき

▽特集では触れられませんでした  
が、柏市はラグビーW杯日本大会  
に向けてオールブラックス(ニュ  
ージーランド代表)が事前キャン  
プを実施した場所です。  
▽残念ながらオールブラックスと  
日本代表の決勝戦は実現しませ  
んでしたが、全国各地を熱狂させ  
ている今大会を通じ、この後のラ  
グビー人気が増速しそうです。  
▽取材等にご協力いただきました  
柏市の皆さん、本当にありがとう  
ございました。

(橋本)

生涯学習サポーター  
浅野リサ

明和振興センター  
図書室 ☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★14歳の世渡り術PART・12(全3巻)



出版社：河出書房新社

### ●いつかすべてが君の力になる 梶裕貴/著

『進撃の巨人』エレン・イェーガー役など数々の話題作で主役を務める実力派声優が、下積み時代の苦悩から「声優」という仕事への思いまでを語った、夢に向かう全ての人にエールを送る1冊!

### ●人生を変えるアニメ

楽しいアニメ、悲しいアニメ、美しいアニメ、悩ましいアニメ……人生に必要なことは、すべてアニメが教えてくれる! アニメ監督、声優、小説家etcが中高生に本気で薦める決定版アニメガイド。

### ●死体が教えてくれたこと 上野正彦/著

2万体の検死解剖を行った法医学の第一人者が初めて若者に向けた一冊を出版。声なき者の声をきくということ、どんな境遇でも生き抜くべき命の大切さを89年の生涯を振り返りながら説く。

## ★M 愛すべき人がいて

著者：小松成美 出版社：幻冬舎



博多から上京したありふれた少女・あゆを変えたのは、あるプロデューサーとの出会いだった。やがて愛し合う二人は、“浜崎あゆみ”を瞬く間にスターダムに押し上げる。しかし、別れは思いのほか、早く訪れ…。歌姫誕生に秘められた、出会いと別れの物語。

★明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

## カケス (学名: *Garrulus glandarius*)

【スズメ目カラス科】



▲ 綿毛が残るカケスの若鳥



▲ ドングリを探すカケス

森の中を歩いていると、「ギャーギャー」と大声で鳴く鳥に出会うことがあります。枝から飛び立ち、ゆっくりとした動作で飛んでいきますが、ぱっと開いた翼の白黒青のコントラストが鮮やかで印象的です。このような目立つ姿のカケスはしばしば猛禽類もうちんるいに襲われて命を落とすことがあります。森の中に散乱した羽根に鮮やかな青い羽根が混ざっていると、それはカケスが食べられた跡です。

カケスは、全長33cmほどで、北海道から四国、九州まで生息しています。只見町では一年中見られ、集落のそばから標高の高い山地にまで生息していますが、山地の個体は冬には低地まで下りてくると考えられます。そのため、とりわけ秋はよく目にし、早春にも小さな群で移動する姿を見ることができます。秋のカケスは、コナラやミズナラの木に実ったドングリを次々と飲み込み、のどに貯め込んだ状態で飛んで移動します。運ばれたドングリは、食物がとれない冬に備えて、木の隙間や落ち葉の下に蓄えられます。カラスの仲間以利口なカケスですが、折角隠したドングリを回収し忘れることがあり、発芽できる状態のドングリは翌春芽を出します。つまり、カケスは、ナラ類のような樹木が作る種子を遠くに運ぶ役割を果たすことになるのです。

※台風の影響により開催を延期していたブナセンター講座「地層からひもとく只見の自然」は、下記の日時で改めて開催いたします。(入場無料 ※入館料が必要です)

・2019年11月16日(土) 13:30~15:30 (「ただみ・ブナと川のミュージアム」セミナー室)

### 野鳥観察会「只見町の秋の鳥～渡ってくる鳥・去る鳥」を開催

9月28日、ブナセンター主催の上記野鳥観察会を開催しました。「ただみ・ブナと川のミュージアム」を出発し、「水の郷只見川公園」内や只見川沿いを徒歩で移動し、渡り途中のヒヨドリやヨシの茂みに作られたオオヨシキリの巣、越冬のために渡ってきたキンクロハジロなどを観察した他、ブナセンター指導員がナラ枯れについての解説を行いました。双眼鏡を使うのは初めてという人も使い方を覚え、皆さんに只見の秋の自然を満喫していただきました。



▲ 野鳥を探す参加者